

== 知的財産教育ビデオWEB配信 ==

本ビデオシリーズは、初等中等教育機関で知的財産教育を実施する際に必要となる

1. 基本的な考え方、理念
2. 知的財産教育実践事例紹介
3. 教員や学生の模擬授業
4. 授業で利用する3分から10分程度のビデオ教材

をまとめたものです。視聴は、このパンフレット3頁一覧表の時間部分ボタンをクリック(WMV形式)。

山口大学では、学部生、大学院生と研究者を対象とする知的財産教育手法の研究と実践、並びに、初等中等教育機関における知的財産教育手法の研究と実践を進めています。前者は工学等の専門教育担当教員がご自身で知財教育を実施するための教材開発やシステム開発まで含めた活動が進められています。後者は、個別授業実践の他に教職課程学生を対象とした実践的知財教育として進められており、先日も学生や教員対象の「知的財産教育教本(第1版)」(山口大学2009.3)を配布したところです。

この、知的財産教育ビデオシリーズは、後者の初等中等教育機関における取り組みとその中で制作されたビデオ教材の一部を配信するものです。主たる想定視聴者は「教書志望学生」と「現職教員」です。また、知財教育の意義や若干の理論的解明も含まれますから企業等の知財教育担当者にも参考になる部分があります。

今回の学習指導要領改訂では、発達段階や教科等の相違に起因する温度差はあるものの、知財教育についてより踏み込んだ記述がされています。しかしながら、初等中等教育機関で、知的財産教育に直面した際に、権利を教えるのか、知的財産を教えるのか、あるいはその他の要素も考慮するのかという基本部分で迷うことも多いと考えられます。ビデオ制作メンバーは、現職教員として知財教育に携わってきた者、大学で知財教育研究を行っている者、そして教育学部の学生として知財模擬・実証授業を実施した者であり、迷いや疑問に直面しながら実践的解決に至る経緯がビデオに収録されています。なお、本ビデオシリーズは、理想的には無償配布されている前述の「知的財産教育教本(第1版)」と併用すると効果的です。

ビデオは計28本で下記A～Fに分類されています。詳細はこのパンフレット3頁表を御覧ください。

- A 知財教育のあり方 理念
- B 知財教育のあり方 実践事例紹介
- C 教員模擬授業
- D 学生模擬授業
- E 遠隔授業
- F 知財ビデオ教材

Eの下関商業高校との遠隔双方向授業(4本)とFの授業用ビデオ教材(11本)以外は、平成20年8月に小倉工業高校で実施した山口大学教育学部学生と現職教員の合同知財教育研修と、平成20年11月に山口大学で実施した知的財産教育フォーラムの内容から編集しています。太字斜体部分がビデオ化した部分です。

知的財産教育 GP 合宿研修会

【実施月日】平成20年8月9日、10日

【実施場所】福岡県立小倉工業高等学校

【参加者】山口大学現代教育 GP 知的財産教育教本編集・出版委員9名及びオブザーバ1名、山口大学知的財産教育 GP 関係教員2名、山口大学教育学部生3名及び職員1名

【実施内容】

8月9日

10:00-12:00 現代教育 GP 知的財産教育教本編集・出版



委員会と学生の合同委員会

- ・プロジェクトの進行状況の確認
- ・これまでの成果の情報共有

参加教員（GP 出版委員）が知財教育に関するプレゼンテーションを行い、学生に全体概要を説明した。

13:00-14:30 教員（GP 出版委員）による模擬授業（各模擬授業 20 分，質疑応答 10 分）

事例紹介 工業高校における創造性育成のための知財教育の実践（工業高校教諭）

模擬授業 課題発見と解決（農業高校教諭）

事例紹介 商業教育における知的財産教育の実践研究（商業高校教諭）

14:45-16:00 教員による模擬授業の振り返り，学生が実施する模擬授業の内容・構想の発表と検討

16:15-19:00 学生による模擬授業の教材研究及び指導案の作成

20:00-22:00 勉強会（知的財産全般）

8月10日

10:30-12:00 山口大学教育学部生による模擬授業（各模擬授業 25 分，質疑応答 5 分）

模擬授業 商標を道徳教育の題材として取り上げた後，児童個人のマークを創造させ道徳教育と創造教育を関連させた模擬授業（想定対象：小学校中学年）

模擬授業 生徒に身近なゲーム機の発明について工夫点を挙げさせ，技術・家庭科で行なう科学技術に結びつけた模擬授業（想定対象：中学生）

模擬授業 生徒に身近にある物（シャープペンシル）の問題点・工夫点を挙げさせ，技術・家庭科で行なう棚の製作に結びつけた模擬授業（想定対象：中学生）
学生による模擬授業の振り返り

14:00-16:00 現代教育 G P 知的財産教育教本編集・出版委員会と実施委員会の合同委員会



知的財産教育フォーラム

大学・工業高校・商業高校での知的財産教育の実践事例紹介，現役の高校教諭による模擬授業を行ないました。それらを踏まえ，パネルディスカッションでは初等中等教育機関における知的財産教育のあり方や必要性について議論が行なわれました。

【開催日時】平成20年11月29日（土）13時～16時30分 【主催】山口大学

【プログラム】

- | | | |
|-------|-------------|---|
| 13:00 | 開会挨拶 | 上西 研（山口大学大学院 技術経営研究科長） |
| 13:05 | 本取組の説明 | 木村 友久（山口大学大学院技術経営研究科 教授） |
| 13:10 | 実践報告 | 阿濱 茂樹（山口大学教育学部 准教授）学生模擬授業紹介を含む
内藤 善文（愛媛県立今治工業高等学校 教諭）
佐藤 公敏（北海道下川商業高等学校 教諭） |
| 14:40 | 模擬授業 | 陳内 秀樹（長崎県立島原農業高等学校 教諭） |
| 15:15 | パネルディスカッション | |
| 16:25 | 閉会挨拶 | 三木 俊克（山口大学 副学長） |



知的財産教育ビデオ教材一覧表

整理番号	A 知財教育のあり方 理念	撮影日	時間(尺)
A - 1	H20 知財教育研修会(籠原先生)	H20.8.9	71分4秒
A - 2	H20 山口大学知財教育フォーラム(パネルディスカッション)	H20.11.29	67分35秒

整理番号	B 知財教育のあり方 実践事例紹介	撮影日	時間(尺)
B - 1	H20 知財教育研修会(佐藤先生) 下川商業高校	H20.8.9	34分53秒
B - 2	H20 知財教育研修会(内藤先生) 今治工業高校	H20.8.9	43分36秒
B - 3	H20 知財教育研修会(満丸先生) 加治木工業高校	H20.8.9	21分47秒
B - 4	H20 知財教育研修会(廣田先生) 田布施農業高校	H20.8.9	10分55秒
B - 5	H20 山口大学知財教育フォーラム(阿濱先生) 山口大学教育学部	H20.11.29	33分18秒
B - 6	H20 山口大学知財教育フォーラム(佐藤先生) 下川商業高校	H20.11.29	19分47秒
B - 7	H20 山口大学知財教育フォーラム(内藤先生) 今治工業高校	H20.11.29	15分23秒

整理番号	C 教員模擬授業	撮影日	時間(尺)
C - 1	H20 知財教育研修会(陳内先生) 模擬授業	H20.8.9	18分52秒
C - 2	H20 山口大学知財教育フォーラム(陳内先生) 模擬授業	H20.11.29	28分56秒

整理番号	D 学生模擬授業	撮影日	時間(尺)
D - 1	H20 知財教育研修会(学生1)	H20.8.9	41分50秒
D - 2	H20 知財教育研修会(学生3)	H20.8.9	48分46秒

整理番号	E 遠隔授業	撮影日時	時間(尺)
E - 1	遠隔授業(下関商業)「商標の概要と商標検索」(木村先生)	H21.2.12	45分35秒
E - 2	遠隔授業(下関商業)「商標の概要と商標検索」(木村先生)	H21.2.17	44分54秒
E - 3	遠隔授業(下関商業)「商標登録要件と模擬商標出願」(木村先生)	H21.2.19	44分59秒
E - 4	遠隔授業(下関商業)「特許の基礎知識」(木村先生)	H21.2.19	37分36秒

E - 1 ~ E - 4は一般向けあるいは企業の初歩的研修段階の知財入門にも利用できます

整理番号	F 知財ビデオ教材	作成年	時間(尺)
F - 1	品種登録・商標登録された農産品	H19	8分25秒
F - 2	知財サイクル」(株)ミタカ電機	H18	7分36秒
F - 3	(有害情報)閲覧制限技術の開発	H17	7分32秒
F - 4	知的財産信託で中小企業の権利を守る 大田区 トキワ精機	H17	10分12秒
F - 5	技術力と一貫した生産体制で市場を開拓する 大田区三輝	H17	6分7秒
F - 6	アルゴリズムの例 電子透かし技術	H17	5分16秒
F - 7	数式から芸術を生み出す	H17	8分6秒
共用	同上	H17	同上
F - 8	著作権法とJASRAC(その1)・・・著作権法の基礎知識	H17	5分7秒
F - 9	著作権法とJASRAC(その2)・・・楽曲の信託制度	H17	7分54秒
F - 10	著作権法とJASRAC(その3)・・・JASRACの活動紹介	H17	4分40秒
F - 11	地域の中小企業ネットワークを支援する 大田区産業振興協会	H17	15分30秒